

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

1000本ノックで新商品を育む (赤城乳業)

1. 1961年に設立した赤城乳業(埼玉県深谷市)は、年間販売本数で最大4億8000万本を記録したアイス「カリガリ君」の開発元として知られる。ガリガリ君のほか、「ガツン、とみかん」シリーズなどを展開し、2018年12月期の売上高は471億円と12期連続の増収を達成した。それでも社員は390人。森永乳業などの競合他社と比べて、およそ10分の1の規模にすぎない。小粒な企業規模だからこそ、市場で埋もれてしまわない特徴ある商品づくりにこだわってきた。
2. 奇抜ながらもヒットになる商品を手掛けるのは、20代の若手社員だ。やみくもに若手に企画・開発を任せるわけではない。同社の開発部に配属された新入社員には「1000本ノック」の試練が待ち受ける。1年間で1000個の商品アイデアを考えさせるといふもの。ノートに商品イラストやコンセプト、価格、想定するターゲットなどを一つひとつ書き起こしていく。アイデアが出たところで、開発部のベテラン社員が評価する。
3. 赤城乳業が若手に新商品の企画・開発を任せるのは、ベテラン社員だけで企画すると、無難な商品になる可能性があるからだ。アイスの開発に関して「素人」の若手の豊かな創造性に同社はかけているのだ。開発だけでなく、工場でも、総務でも、営業でも、一から十までしっかり教えるのではなく、まずやらせてみる。だからこそ入社1年後に新商品を出せたり、工場で責任を持った仕事をしているのだ。

(参考:「日経ビジネス」2019年9月23日号)

街の活性化策

2018年訪日客1位の鳥取県のアイデア

1. 鳥取県が2018年の訪日客が増えた都道府県ランキングで1位(前年比2.8倍)になった理由は、「陸の孤島」といわれる鳥取に、アニメの名前を入れた空港が2つもできたのが大きかった。鳥取市には、漫画「名探偵コナン」原作者の資料館「青山剛昌ふるさと館」がある。県東部にある「鳥取砂丘コナン空港」には羽田空港との直行便しかない。だが、ふるさと館と直通のバスが運行されており、海外から羽田を経由してくる観光客もいる。
2. 西部の米子市にある「米子鬼太郎空港」は、2016年香港便が就航し、2018年にはソウル便が週6便に増便された。これらが外国人観光客の急増に寄与している。また、鳥取市は外国人観光客に対し手厚いサービスを展開している。例えば外国人に限り、1人3時間2000円でタクシーを貸し切りのできるサービスが人気だ。従来だと9000円を超えるが、市と県で毎年約900万円づつ補助金を出し差額分を補填している。(参考:「週刊東洋経済」:2019年9月7日号)

人事・労務について

出戻り社員を受け入れる姿勢 (三井物産等)

1. 新たな価値を創造するための働き方が模索されているが、大手企業では、他社に転職した元社員を「出戻り社員」として受け入れる企業が増えている。日立製作所では、経験者(キャリア採用)の対象に元社員を含めている。クラレは退職者へのアプローチを通じ、出戻り社員獲得に向けて今まさに動き出そうとしている。
2. 三井物産では、元社員との関係を強化することで、協業機会の発掘を探るため、退職者とのつながりも強化している。若年退職した社員が集まる「元物産会」にはベンチャー経営者など約450人が登録、ビジネスネットワークが形成されているが、その集まりには、副社長をはじめ経営幹部が出席しているのだ。三井物産の食堂でも交流会は開かれ、「復帰のドアは開いている」という姿勢を示している。(参考:「Wedge」:2019年10月号)

古典に学ぶ

不正な賄賂をなす実業家

(解説) 以前私はか様な不正な賄賂をなす実業家は、海外にはありもしようが、我が日本にあるまいと思っていたが、いやしくも海外のそれに紛らわしい者が我が実業家中にもあるというので、甚だもって痛心の至りである。かような事件の発生するのも、仁義道徳と生産利殖を別々に考えて取扱うからであろうと思われる。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)